



岡山県原水協通信

2011年3月2日 No159
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

新署名取組み決意固めた3・1集会

被爆57年ビキニデー原水協集会に1000人参加

57年前の1954年3月1日に、太平洋ビキニ環礁でアメリカの水爆実験によって「第5福竜丸」をはじめ多数の日本漁船の船員、マーシャル諸島の島民が被爆した「ビキニ事件」が起きました。日本の原水爆禁止運動の出発点となったこの事件の犠牲者を追悼し、核兵器廃絶の誓いを新たにする「3・1ビキニデー」集会が行われました。

27日の国際交流会議に引き続き、28日には静岡市民会館で日本原水協集会全体集会と7つの分科会が開かれ、全国から1000人が参加しました。

集会と分科会では新しい国際署名「核兵器全面禁止のアピール」を地域ぐるみで取り組む決意をかためました。



赤いバラを手に墓参平和行進 3・1集会には1600人

3月1日午前には、「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残して亡くなった第5福竜丸の無線長久保山愛吉さんの遺志をつぐ献花墓参平和行進がおこなわれました。久保山さんが好きだった赤いバラを手にJR焼津駅前から弘徳院まで1時間余の行進を行いました。

午後から焼津市民会館で「被災57年2011年3・1ビキニデー集会」が開かれ、1600人が参加しました。集会では焼津市の清水市長が挨拶、新しい国際署名を地域ぐるみ・住民ぐるみの運動に発展させようと訴える集会アピールを採択しました。

「感動の集会でした」

2011年3・1ビキニデー集会には岡山県から県労、医労連、岡山医師協労組、林精研労、民医連、人権連、平和委、岡山医師協、水島・高梁原水協、学習協の11団体、15人が参加しました。岡山県民医連から参加した松本真紀さんは「はじめて参加して、参加者が多いことに驚きました。核兵器はいらないという同じ思いを共有している仲間の勢いを感じました。第5福竜丸の元乗組員大石又七さんのお話は生々しく、心を打たれました。海外代表の皆さんも核兵器廃絶の強い決意を述べられ感動しました。雨が降って「動く分科会」が予定通り行われなかったのが少し残念でした」と話していました。

岡山から15人が参加

